

アートマイル国際交流 壁画共同制作プロジェクト



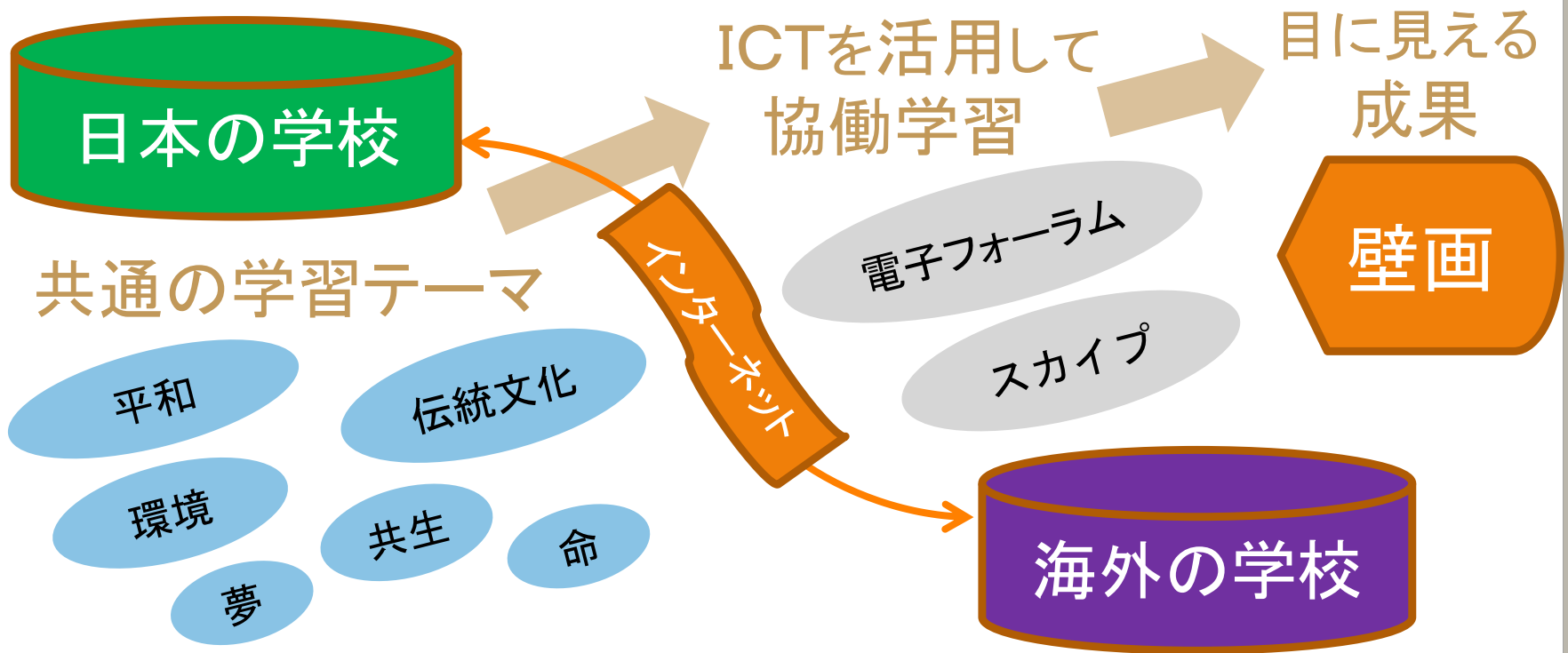
アートマイルセミナー2017



ジャパンアートマイル
代表 塩飽 隆子

世界の同世代と学び合う アートマイル国際協働学習

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」



教科等の連携

総合、国語、社会、英語、外国語活動、情報、生活、道徳・・・

世界に広がるアートマイル

【参加者】

世界から **64** 国・地域
1,181 校
40,076 名

○文部科学省・外務省の後援事業

○ユネスコがESD・GCED
として奨励する学習プログラム

※ESD:時速可能な開発のための教育、GCED:地球市民教育

○JICA青年海外協力隊事務局の協力



2016年12月

「ユネスコ・アートマイル壁画展」
ボコバ事務局長と歓談



今、なぜアートマイル？

国際社会で求められる力

急速にグローバル化が加速する社会
想定外や不確実性が增大する時代



決まった答えがない問題を
多様な文化背景・価値観を持つ人と
対話的・協働的に問題を解決する力
新しい価値を生み出す力

学校教育で育むには

文化も考え方も違う世界の同世代と
共通のテーマで継続的に学び合い
一緒に課題を解決しながら
無から有を生む国際協働学習

主体的・対話的・協働的



思考力・判断力・表現力



アートマイルの国際協働学習
世界の人々と協働する原体験

国際協働学習の流れ



段階を追って進む 国際協働学習の流れ

【出会い】自己紹介

世界と出会って視野が広がる、自分たちの良さに気付く

【共有】テーマ学習

類似点・相違点を見つけ、新たな視点でテーマについて考え、意見交換して学習を深める

【融合】想いを形に

双方の想いを合わせて世界に訴えるメッセージ作成
→メッセージに込めた想いを形にして壁画のデザイン決定

【創造】壁画制作

海外の相手とゼロからものを生み出す“協創”

【評価】振り返り

アートマイルを通して自分がどう変わったか自己評価

国際協働学習の流れ



フォーラム

＜自己紹介＞ ～個と個が繋がる～



テレビ会議

親密感が一気に増す



1. 「出会い」自己紹介

テーマ例：平和・地域の文化・環境・エネルギー・将来の夢

日本のことを
相手に伝える



教え合い
学び合い



相手の国のことを
教えてもらう



新たな視点で
もう一度考え
学びを深める

2. 「共有」 テーマ学習

双方の想いを合わせて世界に訴える メッセージを作成

日本の緑がいかに自然が
伝おると思う。
文化の楽しさが伝おればいかに
思う
いろいろな建物や水、森にすんでいる
生き物の特長も知。7もりたい
(伝えたい)
と思う
いろいろな儀式のやる事を見て知。7
もりたいと思う
青い空の明るい自然が伝お。て
ほしいなと思う。
いろいろな動物や植物たくさん
緑の自然が伝おると思う
生き物を殺さぬようにうすみについで
も伝おればいかになと思う



未来を選ぶのは私達
私達の決断が導く未来は
平和？戦争？どっち？

周りの景色は全然違うけれど
同じ太陽を見ているから
世界はひとつ！

水は自然、動物、人間、全ての命の源
水が豊かな国も、水が不足している国も
一滴の水を大切にしよう！

文化や習慣、環境は違っても
私たちはまあい地球に共に暮らす友だち
一緒に地球を素敵な世界にしていこう！

メッセージに込めた想いを形にして 壁画デザインを決定

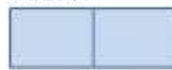
海外と共同制作

どうやって半分にするの？ どうやって一緒に完成させるの？

日本側が半分のキャンパスの半分は絵を描いて相手の国に送り、相手国が半分の半分を描いて壁画を完成させます。
どっちの国にするの、どの部分を描くのかという相談は、テレビ会議や電子フォーラムなどインターネットを活用して行います。

絵の構図パターン

●縦に半分



お互いの文化について教え合い、相手の文化や
様子が大切になっているものを描きました。

大阪府東成区立芝田中学校
と、イギリスのCussey中学校

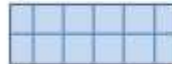
●斜めに半分



自分の国の文化を誇らし日本は四季と人々の
暮らしを描きました。

石川県金沢市立西小中学校
と、オーストラリアのTambora小学校

●市松模様で半分



お互いの一年の伝統文化を教えあって、見聞の
行事文化を伝えました。

石川県金沢市立西小中学校
と、台湾の板橋小学校

●入り組んだ分け方



課題と文化について教え合い、内容別に場を
共有して描きました。

兵庫県赤穂市立赤穂西中学校
と、インドネシアのDiponegoro中学校

●その他のパターン



お互いそれぞれの地域に誇りが伝わる要素
を描きました。

自然と環境について自分の地域と相手の
地域の両方のことを描きました。

授業中に会場を全体に回し、視察録を
はきりかきながら一緒に完成しました。

石川県金沢市立西小中学校
と、台湾の板橋小学校

兵庫県姫路市立安藤小学校
と、オーストラリアのAHDay小学校

東京都立西武池袋中学校
と、インドネシアの国立ウツ第一高等学校

3. 「融合」 想いを形に



日本側が先に半分を描いて相手に送り



後の半分の半分を相手が描いて



完成!

「ウガンダと日本の
自然・文化・人々」

4. 「創造」 壁画制作



- A. 完成作品を鑑賞する
- B. 全体を振り返ってまとめる
→クラス内で発表・相手と共有
- C. 一人一人が自己評価する
(ワークシート・作文・レポート等)

世界に実在する相手と
リアルに学び合う



世界で起きていることを
自分事として捉える



全体を振り返って

自己評価



自己変容

5. 「評価」振り返り

JAMのサポート

ネットで国際協働学習といわれても・・・
海外校と共同制作といわれても・・・

どうやって相手とコミュニケーションするの？
どうやって協働学習すればいいの？
どうやって海外の学校と1枚の絵を描くの？

- ・ 海外のパートナー校を紹介
- ・ 協働学習の指針となる授業カリキュラムモデルを提示
- ・ 相手と1対1で交流できる電子フォーラムを提供
- ・ 教師間で情報共有・意見交換をするメーリングリストを用意（日本語・英語）
- ・ フォーラムと進捗レポートにより進捗状況を見守り、トラブルが発生すれば即時対応

協働学習のツール

フォーラムがベース + テレビ会議 (スカイプ)

●フォーラムの特徴＝継続的な交流

<長所>

- ・時差や進度のギャップを超えてやりとりできる
- ・画像を貼り付けることで英語力不足を補える
- ・じっくり書き、じっくり読める＝言葉の壁が低い
- ・活動の流れをいつでも確認でき、記録として残る

<短所>

- ・交流相手を実感する面で不足
- ・相手からの返信が遅いと意欲低下

●テレビ会議の特徴＝相手の実在感

<長所>

- ・相手の実在感、相手との一体感がある
- ・初期段階で顔を合わせると仲間意識を作れる
- ・モチベーションを上げて次の段階に繋がられる
- ・一緒に鑑賞すると達成感・満足感を共有できる

<短所>

- ・言葉の壁があり、意思疎通が難しい
- ・継続的な交流が難しい

●組み合わせると効果大

- ・フォーラムは、交流の全段階を通じて継続的に情報や意見を交換して学習を共有するのに適している。
- ・テレビ会議は、一回であっても相手との一体感があり、モチベーションを上げることができる。
- ・フォーラムを交流のベースとし、ところどころで効果的にテレビ会議を行うと学習意欲が高まり持続する。達成感も大きい。

アートマイルで育つ力

①異文化を理解する力

異文化と出会って多様な価値観を理解する
自分たちの良さに気付いて自文化理解が深まる

②批判的に思考する力

外からの視点でものを見ることにより客観的、批判的に
考える力がつく

③主体的に考え行動する力

相手がいることでもっと伝えたい意欲、もっと知りたい
意欲が高まり、自分から工夫して考え行動するようになる

④多様な他者と協働する力

学級内だけでなく世界の相手と対話的・協働的に学び合い、
協力して一つのを創り上げる力が育つ

⑤想いを言葉や形にする力

相手や世界の人に伝えたい想いを言葉で表現する力、
想いを絵で表現する力が育つ



「未来を創る力」

・教科横断的に取り組むことで、各教科等で身に付けた知識を総合的に活用して「思考力」「判断力」「表現力」が育ちます。

・自ら意欲的・主体的に学び相手と対話的・協働的に学び合って、無から新しいものを生み出す力が育ちます。

子どもたちの意識の変化

- 自分の地域や国の文化を見直して自分の国に誇りを持ち、世界の多様な文化や異なる価値観を持つ人々を理解し尊重する態度が育つ。
- 世界には共通の課題があることに気づき、自分に何ができるかを考え、主体的に行動し、他者と関わり合いながら問題を解決しようとする。
- 世界の人々と協働することに「自信」が生まれ、グローバルな視野で「自分の将来」や「生き方」を考えるようになる。



世界の人々と協働して
未来を拓く次世代を育成



<http://www.artmile.jp/>
email : jam@artmile.jp